



各 位

2020年10月28日

会 社 名 小松マテール株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 久衛
(コード番号 3580 東証第1部)
問 合 せ 先 取締役管理副本部長 中村 重之
(TEL 0761-55-8000)

業績予想及び剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

当社は、2020年10月28日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月8日に未定としておりました2021年3月期通期の連結業績予想及び2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期通期の連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前 回 予 想 (2020年5月8日公表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今 回 予 想 (B)	30,200	1,620	2,200	2,000	46.62
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
前 期 実 績 (2020年3月期)	36,525	1,612	2,152	1,375	32.06

(2) 理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束時期を合理的に予想することが困難なことから、2020年5月8日公表の「2020年3月期決算短信」では、通期連結業績予想は未定とし、第2四半期累計期間の連結業績予想のみ開示しておりました。

この度、現時点で当社が把握可能な情報に基づいて、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループ各社への影響を見込んで通期連結業績予想を公表することとしました。

衣料ファブリック及び資材ファブリックの両部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び不採算事業からの撤退により減収の見通しです。一方、製品部門では、市場ニーズに応える高機能商品の販売を促進させ、堅調に推移すると想定しております。利益については、受注が低減する中、不採算分野の撤退及び固定費を圧縮し、生産におけるロス削減に注力することにより増益となる見通しです。

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間配当の実施

(1) 中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年5月8日公表)	前期実績 (2020年3月期第2四半期)
基 準 日	2020年9月30日	2020年9月30日	2019年9月30日
1株当たり配当金	8円00銭	未定	7円00銭
配当金総額	344百万円	—	301百万円
効力発生日	2020年11月30日	—	2019年11月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして考え、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。今後の事業拡大のための設備投資等に必要となる内部留保の確保、財務状況、将来の業績などを総合的に勘案し、配当を実施します。

上記の基本方針及び本日発表の当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当期の中間配当金につきましては1株当たり配当金を8円00銭とすることといたしました。また、期末配当につきましては、引き続き未定とさせていただき、今後の業績等を見極めつつ検討してまいります。

以 上